

和台遺跡 上黒岩第 2 岩陰遺跡 彦四郎塚・大日野原遺跡

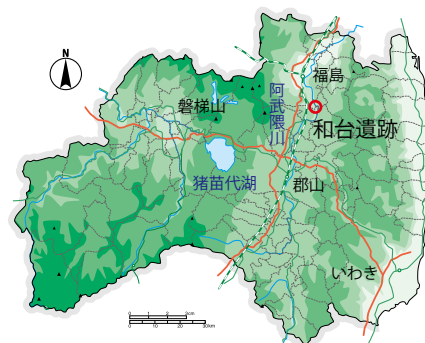
2018 年度発掘調査の概要

2019 年 3 月 1 日

中央大学文学部日本史学専攻考古学ゼミ 小林謙一

和台遺跡 福島県福島市飯野町

国指定遺跡の和台遺跡は、阿武隈川と女神川の二つの川にはさまれた標高 195 m 前後の舌状台地上にある縄文時代中期の集落遺跡である。飯野町により 1996 年に試掘調査、1997～1999 年に本調査、2000～2002 年に範囲確認調査がおこなわれており、これまでに竪穴住居跡 238 軒、掘立柱建物跡 24 棟、埋甕 127 基、土坑 2,650 基、捨て場、多数のピットが検出され、大量の土器・石器・骨角器などが出土している。2006 年に、遺跡の中央住居跡集中部が国指定遺跡となった。本遺跡は、早期～後期にかけて長く存在するが、特に中期末葉（大木 9 式～10 式）の住居跡が集中し、東北地方南部に特徴的な複式炉を持つ住居跡が多数検出されている。



和台遺跡の位置



発掘調査前風景



T 96 トレンチの位置

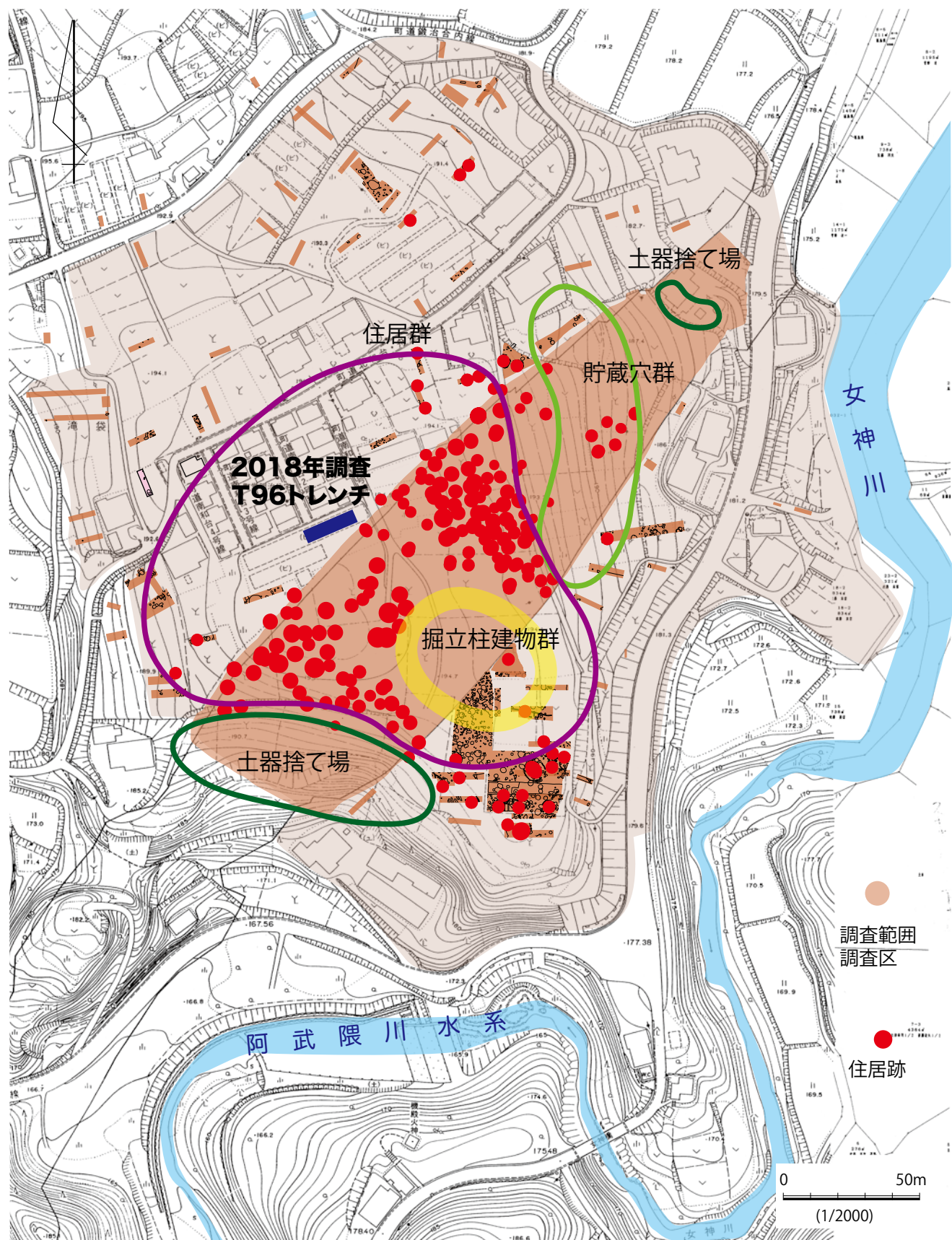


発掘調査のようす



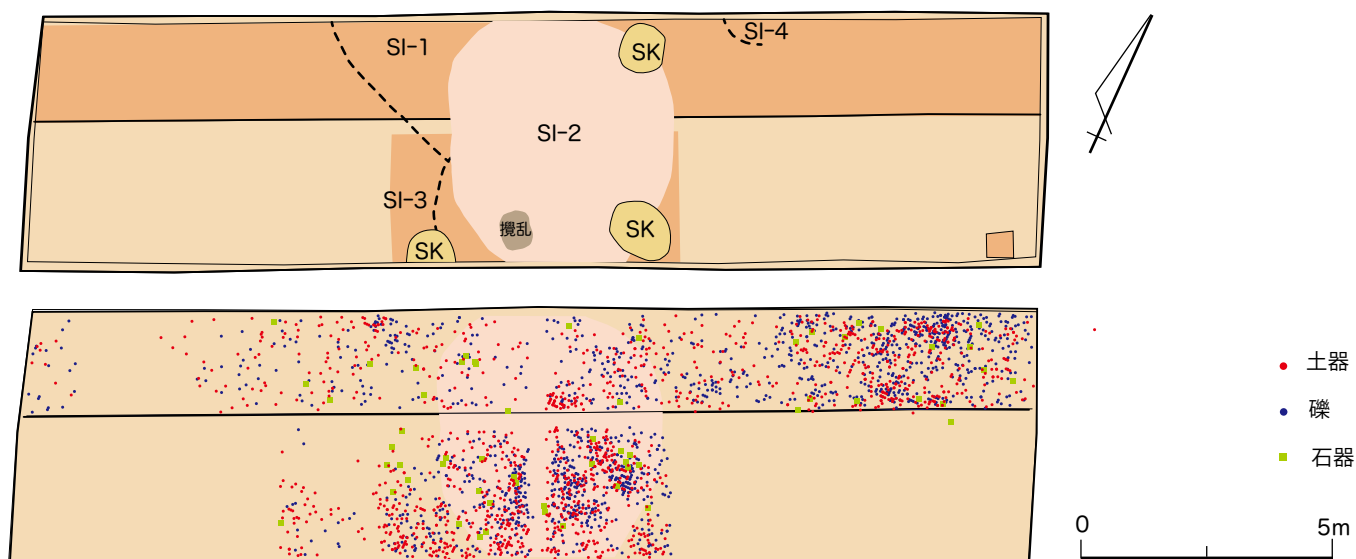
S I 2 住居跡発掘調査

今回、福島市教育委員会による史跡整備のための発掘調査がおこなわれ、中央大学考古学研究室がT96 トレンチの調査を担当した。調査の目的は、広大な和台遺跡の住居群の広がりを確認することと、福島県を中心とした特徴的な遺構である「複式炉」の性格を探ることである。96 トレンチの調査成果として、重複する住居跡を4軒、土坑3基、ピットを確認したが、複式炉は検出に至らなかった。出土遺物としては、縄紋早期（沈線文系土器）、前期（大木2a式、2b式）、中期（大木8b式、9式、10式）、石器では、搔器、打製石斧、石皿、剥片（黒曜石を含む）、礫が出土している。なお、2019年5月に継続して調査を予定している。



福島市教育委員会提供

遺跡全体図



出土遺物の分布図 (S=1/150)



T 96 トレンチ全景 (ドローンによる撮影)



遺構確認のようす



現地説明会 (2018/8/12)

和台遺跡発掘調査参加者

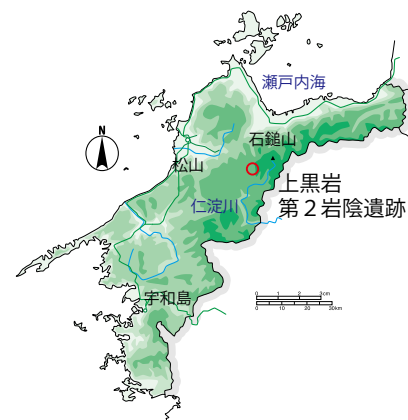
小林謙一、西本志保子、大野朝日、金子悠人、伏見安美、河瀬瞳、貝沼優佳、藤原佑貴、赤羽陽介、戸浪真岐、岩島健一、田代直也、鈴木瑛子、月沢全暁、西村彩、安藤友香、伊藤結梨、櫛引沙羅、伊藤雅就、安本翔音、大沼大晟、村上政昭、石川茉奈、岩本桃佳、林 直輝、小野綺華、堀川菜子、石澤拓実、朝比奈舞、萩庭里紗、山本高大、松浦諒、榊寿晃、石田友也、池田修平、宮田雅大、吉野裕也、佐藤理紀、石塚浩平、春日広務、伊藤靖、細野羽大、木住野聡、鹿沼一成、森大希、石神帆風、荻野駿、石阪友紀、吉田将貴、綾女敬伍、奈良部大樹、工藤彩加、戴育康、難波江春風、網谷愛美、橋本歩実(中央大学)、関根有一朗、佐藤亮太、鈴木宏和、進藤瑞生、戸塚瞬翼(早稲田大学)、新井達哉(福島市)、原充広(公益財団法人福島市振興公社 文化財調査室)、小林尚子(一般)

上黒岩第2岩陰遺跡 愛媛県町久万高原町

2015年度よりおこなってきた愛媛県上黒岩第2岩陰遺跡は、2018年度にて発掘調査を終了した。本年度の調査成果としては、昨年度に確認した縄紋早期の集積葬(2号墓)を完掘し、埋葬骨(2号人骨集中)の取り上げをおこなった。新潟医療福祉大学の奈良貴史教授によると、現時点で少なくとも成人3(男性1・不明2)体、幼児1体、小児2体以上が確認された。また、この2号墓からは、貝製装身具・小型石鏃が出土し、副葬品と考えられる。土壌はすべてフルイかけし、水洗選別をおこなう。出土遺物は、早期から前期初頭の土器片、骨角器などが出土している。(小林)

出土石器については、石鏃12(うち未製品6)点、石錐2点、UF・RF3点、剥片(微小チップ類を除く)14点、掘り具1点である。石鏃完成品は基部に逆V字状の抉りが入る等、上黒岩岩陰遺跡における3層・4層出土の石鏃と類似している。(大野)

出土貝類は、タカラガイ・イモガイ・ヤカドツノガイの未加工品が出土している。タカラガイはクチムラサキ、イモガイはサヤガタイモである。タカラガイは背面に穴が開いているが完形であり、背面の穴は、人為的な穿孔ではないと思われる。イモガイについては、全体の形状を残しており、螺頭部を除去して穴を開け、周辺部を研磨されており、上黒岩陰遺跡出土のイモガイ3点と同様な加工を施している。ヤカドツノガイは小玉状の製品1点、および2重に入れ子状になった未製品など合計8点の出土である。また、土壌の水洗選別・乾燥フルイ作業においても貝類を検出しており、今後の作業でさらに点数が増えると思われる。(西本)



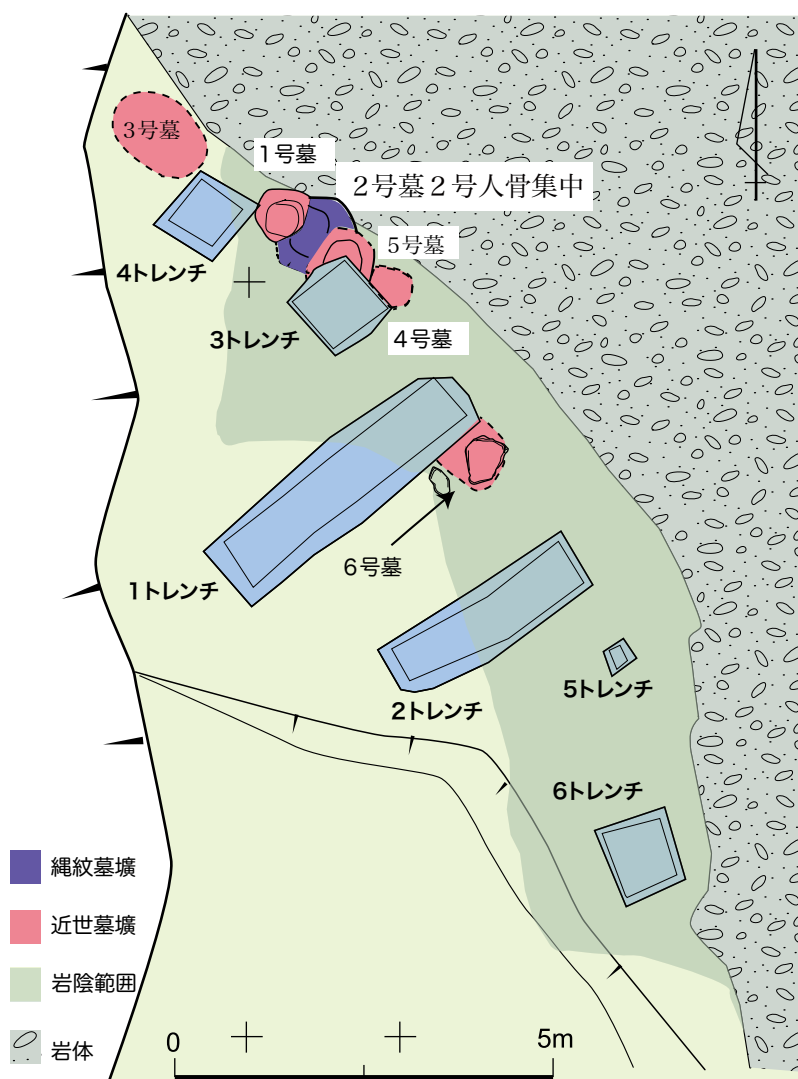
上黒岩第2岩陰遺跡の位置



調査風景



2号人骨集中出土状況



全体図 (S = 1/100)



木の根

2号墓
2号人骨集中
出土状況上面
(南西より)



頭骨

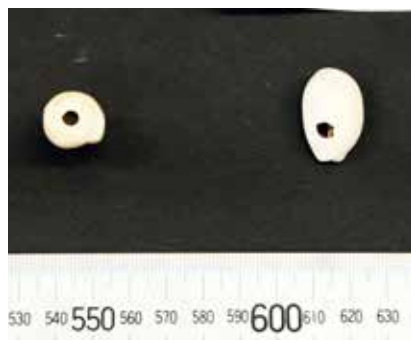
2号墓
2号人骨集中
出土状況下面
(西より)



土器出土状況



現地説明会 (2018/5/4)



穿孔された
イモガイ・タカラガイ

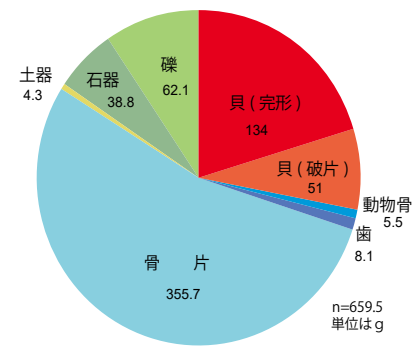


発掘および乾燥フルイ選別
で見つかったツノガイ

上黒岩第2岩陰遺跡 発掘調査参加者
小林謙一、西本志保子、大野朝日、金子悠人、
藤原佑貴、奈良部広樹、赤羽陽介(中央大学)、
奈良貴史、萩原康夫、鯉淵凌子(新潟医療福祉
大学)、及川穰、梶浦由佳(島根大学)、吉永
亜希子、太刀川綾子、逢坂暖(慶應義塾大学)、
栗野翔人、吉村璃来(奈良大学)、杉山歩夢(愛
知学院大学)、島崎達也(伊予市教育委員会)、
酒井中、河野正博(パスコ)、畠沢大地(一般)、
遠部慎(久万高原町教育委員会)



土壌を乾燥フルイにかけ微少遺物を抽出

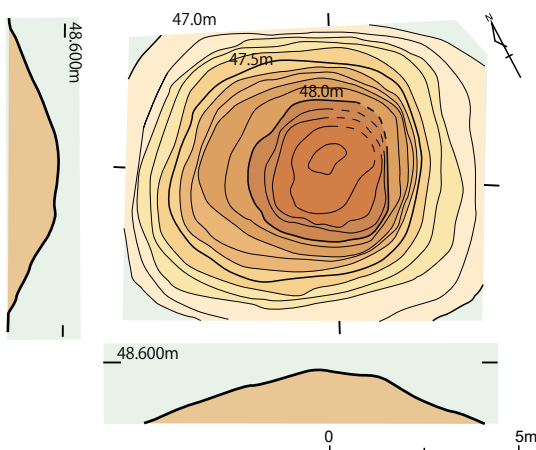


土壌をすべて採取（土嚢袋 136 袋）し、フルイにかけた。なお、骨片としたものは人骨は除いた種類不明のものである。

2号人骨集中土壌乾燥フルイ出土遺物重量グラフ

彦四郎塚 測量調査 東京都府中市白糸台

府中市史編さん事業の一環として、府中市文化スポーツ部ふるさと文化財課市史編さん担当と、中央大学考古学研究室が連携して、2018年7月1日、7月15日の2日間にわたり、考古学実習を兼ねた測量調査をおこなった。地元の伝承にある中世の塚、白糸台古墳群の一端をなす古墳なのか、検討する必要がある。



彦四郎塚コンター図 (S=1/200)

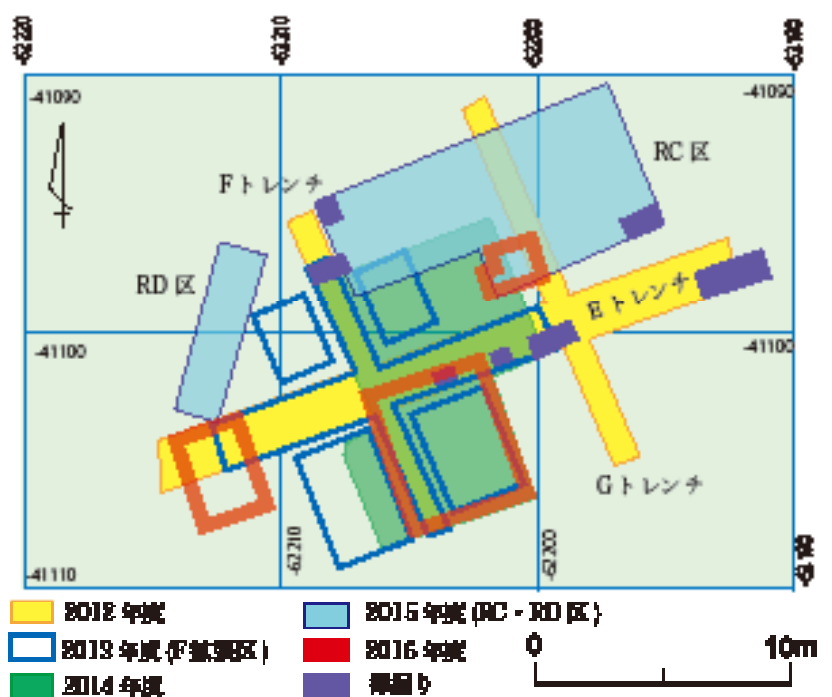


彦四郎塚

大日野原遺跡 整理作業

2012～2016年度まで足かけ4年にわたる発掘調査を終え、6年間にわたり整理作業が続けてきた。今年度、発掘調査報告書の刊行を目指し、整理作業も大詰めをむかえ、図版作成をおこなっている。土器は、早期から後期にわたり認められるうち、中期前葉と後期前葉が多く出土している。石器は、打製石斧の出土が多いことと、石錐の出土も多く認められ、この時期の生業活動復元の手掛かりになるとと思われる。その他、剥片類の出土が少ないことから、4次調査範囲内での石器製作はおこなわれなかった可能性が高いことがうかがえる。

炭素14年代測定をおこなった結果、SI-14住居跡出土炭化物は (PKA19408)3787±26 と (PKA19409)3868±22、SK-1土坑出土炭化物は 2965±28¹⁴C BP の値が測定されている。



2012～2016年度調査区全体図 (1/300)



2016 年度 調査参加者（上：和台 下：上黒岩第 2 岩陰）

遺跡抄録

ふりがな	わだいいせき かみくろいわだいにいわかげいせき ひこしろうつか おびのっばらいせき						
書名	和台遺跡 上黒岩第 2 岩陰遺跡 彦四郎塚・大日野原遺跡						
副書名	2018 年度発掘調査の概要						
シリーズ名	中央大学文学部考古学研究室 2018 年度活動報告						
シリーズ番号							
著者名	小林謙一・小林尚子・西本志保子・大野朝日						
編集機関	中央大学文学部日本史学専攻考古学ゼミ 小林謙一（編集 小林尚子）						
所在地	東京都八王子市東中野 742 - 1						
発行年月日	2019 年 3 月 1 日						
ふりがな	ふりがな	コード	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名	所在地						
わだい	ふくしまけんふくしましいのまちめいじあざみなみわだいきたわだい	201 0113	37° 41'09"	140° 31'57"	2018.7.30 ~ 8.10	35㎡	史跡追加指定 範囲確認のため
和台遺跡	福島県福島市飯野町明治字南和台北和台 ほか						
ふりがな	ふりがな	コード	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名	所在地						
かみくろいわだいにいわかげ	えひめけんくまこうげんちょうかみくろいわ		33° 36'48"	132° 57'30"	2018.5.1 ~ 5.6	12.3㎡	学術調査
上黒岩第 2 岩陰遺跡	愛媛県久万高原町上黒岩 1 2 0 6 - 1						

中央大学文学部考古学研究室 2018 年度活動報告

和台遺跡 上黒岩第 2 岩陰遺跡 彦四郎塚・大日野原遺跡

2018 年度発掘調査の概要

印刷・発行日 2019 年 3 月 1 日
編集・発行 中央大学文学部日本史学専攻考古学ゼミ
小林謙一

〒 192-0393 東京都八王子市東中野 742-1

表紙写真 和台遺跡をドローンにて撮影